

学 期	学校行事	道徳	特 活		教 科								外国語活動	総合的な学 習の時間	地域・家庭 との連携
			学級活動	クラブ・児童 会 委員会	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育			
1	「運動会」 ○運動会の意義を考え、進んで参加し自分たちでつくり上げていこうという気持ちを持たせる。 ●運動会の種目や係の仕事を通して集団の中で自分の役割を果たすことの大切さを理解する。 【はたす】	「うちらネコの手ボランティア」 ○勤労の意義を知り、進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。 C-(3)勤労、公共の精神 ●進んで人のためになることを考える。 【もとめる】	「今日から最上級生」 ○最上級生としての立場や役割を理解し、下級生の立場を考えた世話の仕方を工夫させる。 ●最上級生としての役割を自覚し、全校児童に信頼される行動する。 【かかわる】 「思い出に残る修学旅行にしよう」 ○修学旅行の活動をとおして、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う。 ●修学旅行の活動をとおして、集団の中でよりよく人間関係を築く。 【かかわる】	「たてわり活動」 ○班のリーダーとして全学年参加のゲームを考えるなど、活動の中心となって下学年の体験を支える。 ●下学年のお世話をする中での、最上級生としての自覚を持つ。 【かかわる】 【はたす】	「問題を解決するために話し合おう」 ○自分の意見を的確に伝え、ほかの人の意図を考えながら話し合わせる。 ●自分の意見を的確に伝えて、相手の意図を考えながら話し合う。 【かかわる】	「江戸の文化と新しい学問」 ○江戸の文化をつくり上げた人々や、国学や蘭学にかかわった人物の中から一人取り上げ、学問や文化の特色、社会に与えた影響、自分の思いをまとめさせる。 ●取り上げた人物の業績や生き方から、将来の生活や仕事に夢や目標をもつことの大切さに気付く。 【もとめる】		「生き物のくらしと環境」 ○生き物と空気や食べ物、水等の環境との関わりを通して、地球環境に関心を持たせる。 ●地球に生きる動物と環境との関連を知り、自然を大切にすることが大切であることを持つ。 【かかわる】	「和音の美しさを味わおう」 ○和音の響きの美しさを感じ取って、互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、全体の響きのバランスに気を付けて演奏させる。 ●曲想を考えながら、互いの歌声を聴き合い、自分の声が溶け込むように歌う活動をとおして、美しい和音の響きをつくるための自分の果たすべき役割について考える。 【はたす】		「工夫しよう朝の生活」 ○朝食の大切さを理解し、栄養のバランスのよい簡単なおかずを考え、朝食づくりの計画を立てさせる。 ●家族の一員として自分の役割を自覚する。 【はたす】		「自己紹介」 ○自分の誕生日や趣味、スポーツなどを友達に英語で紹介させる。 ●自分から進んで友達と交流し、自分について正しく伝えたり、相手のことをじっくり聞いたる。 【かかわる】	「ジオガイドになろう」 ○ジオパークについて図書資料やジオパーク推進室の方々から話を聞いて調べ、見学を通して課題解決をさせる。 ●友達と協力して課題について調べ、分からないことを進んで係員に質問して解決するする。自分の住む地域の良さを見つけ、ジオガイドとして発信する。 【もとめる】 【かかわる】 【はたす】	「学年だより」「学級だより」 ○学校の様子を家庭に知らせる。 ●保護者と協力し、よりよい学校生活を築こうとする態度を養う。 【もとめる】
2	「学芸会」 ○学芸会の意義を考え、進んで協力し自分たちで作り上げていこうという気持ちを持たせる。 ●学芸会演技や係の仕事を通して集団の中で自分の役割を果たすことの大切さを理解する。 【はたす】 「卒業式」 ○6年間の全課程を修了し、卒業する喜びを味わうとともに、よい中学生になる心構えを持たせる。 ●小学校生活6年間でお世話になった方々に感謝の気持ちをもつとともに、中学生としてこれからの在り方について考える。 【もとめる】	「心に通じた『どうぞ』のひとつ」 ○相手の立場に立って思いやりや心の持ち、親切にしようとする。 B-(1)親切・思いやり ●集団の中で互いの良さを認め合い励まし合いながら話し合う。 【かかわる】 「夢」 ○より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を養う。 A-(5)希望と勇気、努力と強い意志 ●自分の良さをどのように生かしていきたいか考える。 【もとめる】	「もうすぐ中学生」 ○中学校と小学校との違いに気付き、希望と自信をもつて、中学校生活を送るための心構えを持たせる。 ●中学校生活への希望や現在在の気持ちなどを文章に表現させることで意欲を高める。 【もとめる】	「ふれあい交流会を成功させよう」 ○ふれあい交流会の意義を考え進んで参加し、協力して広場を作らせる。 ●どんな遊びにするか話し合ったり、役割を分担したりしながら広場を準備することで、様々な人とかかわりをとおして自己理解や他者理解を深化する。 【かかわる】	「君たちに伝えたいこと」 ○文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げさせ深めさせる。 ●筆者からのメッセージをとえられ、自分の考えや思いを深めながらこれからの自分の生き方を考える。 【はたす】	「新しい日本、平和な日本へ」 ○子育て支援事業を通して、地方公共団体や国の世辞の働きが国民生活を支えていることを知り、社会の一員として自分の役割を自覚させる。 ●身近な人々の活躍する姿から社会を見つめ、自己の役割を考えられるようにする。 【かかわる】 【はたす】	「算数卒業旅行」 ○算数の歴史や他国の算数の考え方に触れ、友達と互いに協力し合って問題を解かせる。 ●様々な考え方を学ぶことにより自分の考え方を見つめ直し、友達の考えと照らし合わせながら取り組めるようにする。 【かかわる】	「電気とわたしたちのくらし」 ○発電のしくみを通して、原子力発電や火力発電などに対するエネルギーに関心を持ち、安全で豊かな社会への将来像を考え生活させる。 ●安全な社会の視点から発電事業を見つめ、未来の社会を創造する。 【もとめる】 【はたす】		「12年後のわたし」 ○自分の将来やその様子を想像し、その内容が分かるように場面を工夫しながら、針金や紙粘土などの材料を使って立体に表現させる。 ●制作活動をとおして自分の将来の姿を考え、夢を膨らませる。 【もとめる】	「思いを形に生活に役立つもの」 ○エコバック作りを通して、基本的な手縫いやミシン操作の仕方を工夫して製作させる。 ●ミシンの扱い方を友達と協力し合って確認し、作品の制作に取り組む。 【かかわる】 【はたす】	「病気の予防」 ○病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境にかかわりあって起こることを理解させる。 ●病気の予防について自分の生活の様子、これからの生活の在り方について主体的に探求する。 【もとめる】	「将来の夢を紹介しよう」 ○将来就きたい職業とその理由について紹介し合う活動をとおして、自分の思いを伝え合うことの楽しさを体験させる。 ●外国語活動をとおして、自分や友達のよさに気付く。 【かかわる】	「よりよい生き方を求めて」 ○地域で働く人の存在や、地域を支える職業や働く人々の思いについて知り、自分の生き方について考えさせる。 ●自分が地域のためにできることを考え、実行する。 【かかわる】 【はたす】	

